

秋田県児童会館、子ども博物館の現状

秋田県あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課

1 施設概要

児童に健全な遊びを提供してその健康を増進し、情操を豊かにするとともに、自然と文化に関する児童の認識を深めてその豊かな人間性と創造性をはぐくむため（秋田県児童会館条例第一条）、秋田市山王中島町に1980年（昭和55年）に建設され、建設から45年が経過している。

施設は、レクリエーションホール、木育ルーム、図書室などの児童館エリアとプラネタリウム、科学実験室などの子ども博物館エリア、778人収容の子ども劇場がある。

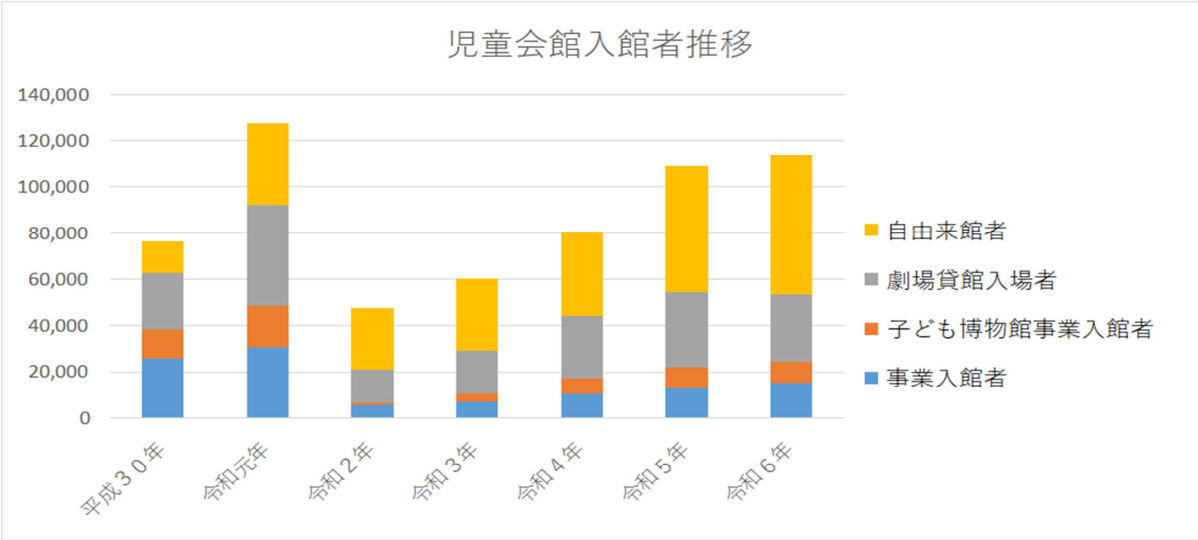
専用駐車場33台、共同駐車場（児童会館、図書館、生涯学習センター）82台、CNA駐車場（土日のみ）8台となっている。

建物情報	延べ床面積	建設年	目標使用年数	残使用年数	主な構造	階数等
	5,672.70㎡	1980年	60年	15年	RC造	地上4階、地下1階

2 利用者の状況

○ 直近の入場者の推移は、令和元年の127千人を最高に、新型コロナウイルスの影響により令和2年から4年まで入場者が減少したが、令和5年には108千人に回復し、令和6年は113千人となった。

利用者を目的別に見ると、自由来館者が一番多く、次いで劇場貸館入場者となっている。内訳で見ると自由来館者、事業入館者、子ども博物館事業入館者が増加しているが、劇場貸館入場者が減少している。

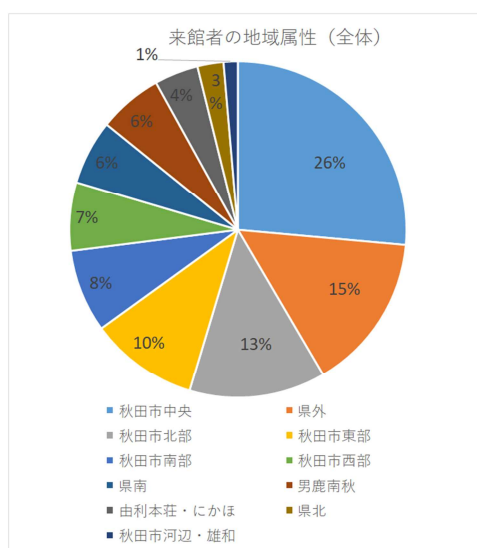


入館者推移	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
事業入館者	25,611	30,605	5,202	7,058	10,292	12,649	14,876
子ども博物館事業入館者	12,349	17,895	1,194	3,147	6,630	8,921	9,447
劇場貸館入場者	24,819	43,323	14,144	18,548	27,025	33,049	28,965
自由来館者	13,374	35,388	27,130	31,479	36,026	54,014	60,004
計	76,153	127,211	47,670	58,900	79,267	108,633	113,292

3 来館者の属性（来館者の居住エリア）

令和7年4月18日から6月3日までの間の自由来館者等の居住地を調査した結果では、立地している秋田市中心部エリアの居住者が多く、全体では秋田市の居住者が7割近くになっている。

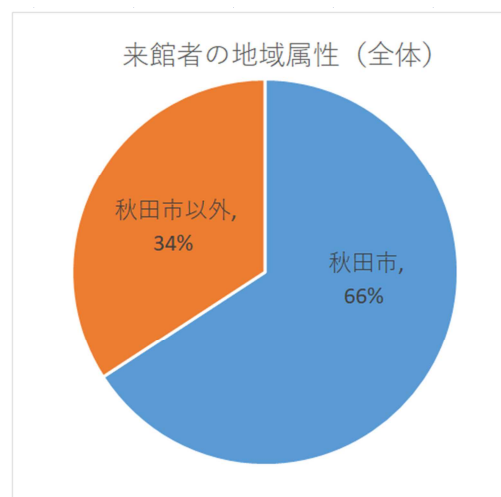
調査期間中にGWがあったことから県外からの利用も多くなっている。



来館者の地域属性	こども	大人	合計	こども	大人	合計
秋田市中心部	315	150	465	28%	24%	26%
県外	172	94	266	15%	15%	15%
秋田市中心部	147	83	230	13%	13%	13%
秋田市中心部	118	65	183	10%	11%	10%
秋田市中心部	95	45	140	8%	7%	8%
秋田市中心部	72	44	116	6%	7%	7%
県南	70	39	109	6%	6%	6%
男鹿南秋	59	49	108	5%	8%	6%
由利本荘・にかほ	51	23	74	4%	4%	4%
県北	26	18	44	2%	3%	3%
秋田市中心部・雄和	16	8	24	1%	1%	1%
合計	1,141	618	1,759	100%	100%	100%
秋田市	763	395	1,158	67%	64%	66%
秋田市以外	378	223	601	33%	36%	34%

※調査期間 令和7年4月18日～令和7年6月3日

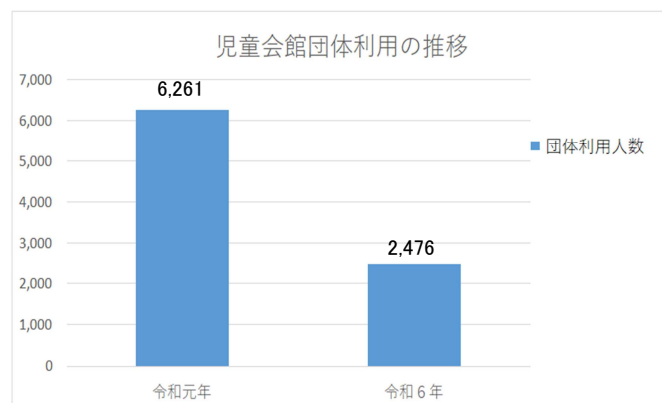
※次世代・女性活躍支援課調べ



4 団体利用人数の推移

令和元年と比較し団体利用の人数が3,785人減少し、団体利用の減少が顕著である。新型コロナウイルスの影響から団体行動が減少していると推察される。

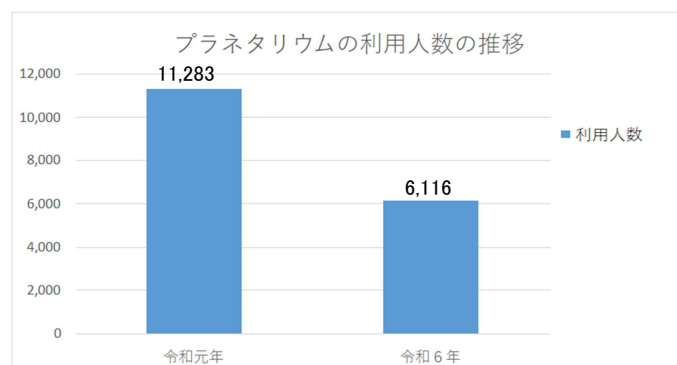
団体利用の推移	令和元年	令和6年
団体利用人数	6,261	2,476



5 プラネタリウム利用の推移

令和元年と比較しプラネタリウム利用人数が5,167人減少している。

プラネタリウム利用の推移	令和元年	令和6年
利用人数	11,283	6,116



6 児童会館の主な修繕状況

平成 5 年：ファミリー・ロボット、ロケットコーナー等改修工事

平成 7 年：正面玄関に自動ドア設置

平成 11 年：冷房設備設置工事

：建物外壁改修工事

平成 13 年：子ども劇場舞台音響設備・照明設備工事

平成 16 年：子ども劇場内誘導灯消灯回路工事

平成 21 年：屋上防水工事竣工（児童会館本体部分）

平成 23 年：プラネタリウム光学式からデジタル式プロジェクター投影システムへ更新

平成 29 年：外壁修繕工事

平成 30 年：第二展示室を改修し、木育遊具を設置。木育ルームとする

：内壁修繕工事（11月1日から平成31年3月まで休館して実施）

令和 3 年：空調設備改修工事（楽屋、図書室、音楽室系統。マルチエアコン機器設備。劇場空調機熱源更新）

令和 6 年：暖房用温水館修繕工事

：非常用放送設備修繕工事

7 修繕費の状況

単位：千円

区分		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	H30～R6
県	件数	4	1	1	4	3	4	7	24
	修繕費	202,209	3,435	1,210	130,056	492	2,584	17,764	357,750
指定 管理者	件数	10	20	21	12	10	18	14	105
	修繕費	1,663	4,287	4,744	5,279	2,621	2,582	1,713	22,889
計	件数	14	21	22	16	13	22	21	129
	修繕費	203,872	7,722	5,954	135,335	3,113	5,166	19,477	380,639

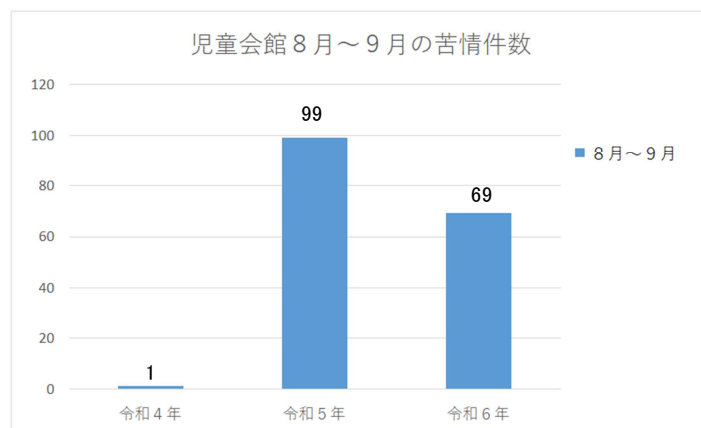
※次世代・女性活躍支援課調べ

8 夏場の暑さ対策

令和3年の空調設備の更新により、木育ルーム、図書室等の個室にはエアコンが設置されているが、レクリエーションホール、劇場のステージにはエアコンの設置がない。レクリエーションホールはスポットエアコン等で対応しているが、根本的な解決に至っておらず夏の暑さ対策が課題となっている。

苦情件数	令和4年	令和5年	令和6年
8月～9月	1	99	69
※劇場を含めた全体			

※令和6年度からスポットクーラーを稼働



9 児童会館及び子ども博物館の課題

(1) 施設の老朽化

- 建設から45年が経過し、施設の劣化が著しく屋根等からの雨水の浸入が毎年発生することからその都度、修繕を実施。令和5年から6年にかけては、暖房用温水管の腐食が見つかり令和6年度に修繕しているほか、非常用放送設備も動作しなくなり更新している。
- 非常ドア、非常階段の手摺りの腐食など利用者の安全利用に関わる部分の劣化が認められることから、今年度、修繕することとしている。

(2) 夏場の暑さ対策

- 令和3年の空調設備の更新により、木育ルーム、図書室等の個室にはエアコンが設置されているが、レクリエーションホール、劇場のステージにはエアコンの設置がない。レクリエーションホールはスポットエアコン等で対応しているが、根本的な解決に至っていない。
- レクリエーションホールは、4階までの吹き抜けとなっていること、採光のためガラス張りであることなどから、空調設備の設置は困難である。

(3) 遊具等について

- 平成30年に木育ルームが新設され未就学児に多く利用されているが、レクリエーションホールの遊具は更新していない。児童会館のシンボリックなファミリーロボットは修繕困難な状況となっている。

(4) プラネタリウムの老朽化

- 平成23年に現在のプラネタリウムに更新され、現在の投影機器は14年経過している。現在のプラネタリウムの投影機の部品は製造されておらず、投影機を制御しているパソコンも古いバージョンのOSを使用している。
- プラネタリウムの更新には、16,500千円が見込まれている。

(5) 生涯学習センターとの設備の共有

- 空調設備、暖房用ボイラー、電気設備を隣接する生涯学習センターと共有している。管理は生涯学習センターで行っている。そのため、児童会館だけで運用することができないことから、生涯学習センターと今後の方向性を同じくする必要がある。
- なお、児童会館より先に生涯学習課において、社会教育施設の在り方検討会を実施し、令和7年3月に結論が出たが、生涯学習センターについては、児童会館と施設を共有していることから、生涯学習センター単独で存廃を判断できないという結論になっている。

※データ出典（秋田県児童会館事業報告書）